



藤島 玄稔 議員

藤島 広川町としての取組みは。
町長 SDGsは2015年9月に国連サミットで採択された

SDGs

Q

広川町としての取組みは

A

ワークショップを実施している

17の持続可能な開発目標であり、169の達成基準から構成されている。誰一人取り残さない社会の実現を目指し、経済、社会、環境をめぐる広範囲な課題に取り組む事としている。

本町では具体的に2050年までに二酸化炭素ゼロを目指すゼロカーボンシティ宣言をした。目標7「エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」と、目標13「気候変動に具体的対策を」を特に関連させ、温暖化による自然災害を防止し、農林水産業の収穫量減少や品質低下をさせぬようにすることで、貧困や飢餓をゼロにしようと取り組んでいる。

藤島 町民との共通認識をどうつくるのか。

町長 5月から来年2月まで毎月ワークショップを実施し、幅広い年代、幅広い分野の皆さんに参加いただいている。



SDGs ワークショップにて

藤島 上広・中広・下広の小学校、広川中学校では、どのように取り組まれているか。
教育長 学習指導要領には「伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するとともに他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養つこと」と掲げている。本町の4校でも、この目標を達成

郷土愛

A

子どもと共に、教師も学んでいる

Q

学校での取り組みは

するため、社会科や道徳科、総合的な学習の時間などで、郷土を愛し、誇りを持つ子どもを育てる学習を行っている。

藤島 校歌についてはどうか。

教育長 校歌では郷土の良さを表す歌詞の意味に触れ、小・中学校とも第一学年で音楽の時間に学び、学校行事や式、運動会で斉唱している。

藤島 遺跡や先人についてはどうか。

教育長 まちづくりに貢献した稲員孫右衛門の功績に触れ、地場産業・企業や農業を営んでいる方々と交流し、郷土を大切に思う心を育成している。また、稲員孫右衛門の功績については今年度も小学校4年生で学ぶとともに教師を対象とした地史巡検を行い、町の歴史を学んでいる。